

会 議 録（概要）

会議の名称	令和2年度 第2回佐渡市歴史的風致維持向上協議会
開催日時	令和3年3月24日（水）午後1時30分～午後3時30分
場所	あいかわ開発総合センター 大集会室
議題	<p>議事</p> <p>（1）令和2年度 歴史的風致維持向上計画 関連事業報告</p> <p>（2）令和2年度 進行管理・評価について</p> <p>（3）令和3年度 事業計画について</p> <p>（4）その他</p>
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出席者	<p><委員></p> <p>会長 岡崎篤行 委員（学識経験者）【リモート】</p> <p>副会長 小林祐玄 委員（関係団体）</p> <p>木村勉 委員（学識経験者）、池田秀範 委員（関係団体）、</p> <p>加藤透 委員（関係団体）、富田龍彦 委員（関係団体）、</p> <p>澤田敦 委員（行政機関）【リモート】、</p> <p>松川真 委員（行政機関）、弾正成子 委員（地元有識者）、</p> <p>萩野正作 委員（地元有識者）、三木緑 委員（地元有識者）、</p> <p>伊貝秀一 委員（市職員）、森川浩行 委員（市職員）</p> <p>計13名</p> <p><オブザーバー></p> <p>国土交通省北陸地方整備局建政部</p> <p>計画・建設産業課長 鬼丸真希【リモート】</p> <p><関連部署></p> <p>社会教育課 佐渡学センター センター長 濱崎賢一</p> <p>観光振興課 課長補佐 渡邊一哉</p> <p>消防本部 警防課 課長補佐 菊地浩之</p> <p>環境対策課 係長 佐々木太一</p> <p>地域振興課 課長補佐 河島宏之</p> <p>高齢福祉課 課長補佐 小林 洋</p> <p><事務局></p> <p>世界遺産推進課</p> <p>課長 下谷徹、 室長 岩崎成正、 係長 宇佐美亮、</p> <p>係長 本間正寛、学芸員 市橋弥生、主事 市川守</p>

	建設課 課長 清水正人、課長補佐 大上貴幸、係長 小田直樹、 主任 相馬高明
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・令和元年度～2年度 歴史的風致維持向上計画関連事業一覧資料1 ・令和2年度 進行管理・評価シート資料2 ・今後のスケジュール資料3 ・令和3年度 佐渡市歴史的風致維持向上計画事業一覧資料4 ・令和3年度 佐渡市歴史的風致維持向上計画事業個票資料5 ・佐渡市歴史的風致維持向上協議会条例資料6 ・まちづくりあいかわ1号・2号当日配布資料 ・佐渡市歴史的風致維持向上協議会 名簿
傍聴人の数	3名
備考	報道2社

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
下谷課長	<p>世界遺産推進課 課長の下谷でございます。</p> <p>それでは、定刻になりましたので、只今より佐渡市歴史的風致維持向上協議会の第2回会議を始めさせていただきます。</p> <p>はじめに、佐渡市を代表して、伊貝副市長がご挨拶を申し上げます。</p>
伊貝委員	<p>こんにちは。佐渡市副市長の伊貝と申します。よろしくお願ひします。</p> <p>素晴らしい春日和となりました。相川へ来る途中、佐和田の海岸を走っていたところ、海上上空に2羽のトキがいました。きれいなトキ色の羽を見ることができ、きっと今日は良いことがあるなと思いながら来ました。さらに欲を出し、梅を見ようと思い、相川城址公園に寄ろうと思いましたが時間的に厳しく、公園の前だけを通って参りました。</p> <p>本日は会議にお集まりいただき、ありがとうございます。また、リモートで参加している方もいると聞いています。本当にありがとうございます。</p> <p>佐渡市の歴史的風致維持向上計画につきまして、日頃からご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>皆様のご協力をおもちまして、ちょうど1年前、令和2年3月24日に佐</p>

	<p>渡市の歴史的風致維持向上計画が国から認定されております。</p> <p>コロナウイルスのため延期されていた認定証授与式も、昨年11月に国交省にて執り行うことができました。これもひとえに、委員の皆さまのご理解・ご協力のおかげです。</p> <p>本日は、令和2年度の歴史的風致維持向上計画に基づき実施された事業の報告、あるいは次年度の計画について審議して頂く流れでございます。</p> <p>それぞれにつきましては、各担当より説明していただきますが、委員の皆様からは忌憚のないご意見・ご指導をいただき、今後の歴史的風致維持向上計画に関する事業を進めて参りたいと考えているところでございます。</p> <p>時間の限られた中ではありますが、よろしく願いいたします。簡単ではありますが、佐渡市を代表してのあいさつとさせていただきます。</p>
下谷課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>第1回目の歴史的風致維持向上協議会は書面審議で行いました。今回は第2回目となりますが、委員の皆様と直接お会いする会議は今回が初めてとなります。初めてお会いする方もいらっしゃると思いますので、委員の皆様は簡単な自己紹介をお願いいたします。</p> <p>それでは、小林副会長より時計まわりで、その後、リモートでの参加者と続けて自己紹介をお願いいたします。</p>
委員	<p>【委員自己紹介】</p>
下谷課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、会議を進めさせていただきます。</p> <p>本日の会議につきましては、コロナウイルス感染症拡大防止により、一部リモートでの開催となります。初めての試みとなりますので、通信状況の不具合など、やってみないと分からない点や段取りが行き届かない面が出る可能性もございますが、どうかご了承願います。</p> <p>また、発言の際は普段よりもゆっくり・はっきりとお話していただくと、スピーカー越しでも聞き取りやすくなります。ご協力よろしく願いいたします。</p> <p>なお、「佐渡市附属機関等の会議の公開に関する要綱」に基づき、本日の会議の議事録を公開させていただくこととなっています。公開にあたりましては、事務局でまとめた要旨を出席された委員の方々にご確認いただいたうえで、佐渡市のホームページ上に掲載させていただきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。</p>

<p>岩崎室長</p>	<p>それでは、本日の会議の成立についてご報告いたします。</p> <p>世界遺産推進課 文化財室 室長の岩崎です。</p> <p>それではご報告いたします。</p> <p>佐渡市歴史的風致維持向上協議会条例第5条第2項によりますと、「協議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。」とされています。</p> <p>委員は15名ありますが、本日の出席委員は13名でありますので、会議が成立することをご報告いたします。</p>
<p>下谷課長</p>	<p>それでは、本協議会条例第5条により、以後の進行は会長にお願いしたいと存じますので、よろしく申し上げます。</p>
<p>岡崎会長</p>	<p>みなさま、ありがとうございました。</p> <p>本協議会の任期は2年間となります。皆様、2年間（残り1年間）どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に移る前に資料の確認を事務局からお願いいたします。</p>
<p>岩崎室長</p>	<p>【資料確認】</p>
<p>岡崎会長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、これより議事に入ります。次第にもとづき、議事（1）について事務局より説明してください。</p>
<p>市橋学芸員</p>	<p>—説明—※説明内容省略</p> <p>(1) 令和2年度 歴史的風致維持向上計画 関連事業報告 資料1</p>
<p>岡崎会長</p>	<p>ありがとうございました。只今の事務局の説明について、何かご意見・ご質問はございますか。</p> <p>今特におっしゃらなくても次に詳しい事業報告ありますので、そちらの時にまた言っていただいても結構です。</p> <p>これが一番大事だと思うんですけども、令和2年度の進行管理シートについてになります。事務局よりご説明お願いします。</p>
<p>市橋学芸員</p>	<p>—説明—</p> <p>(2) 令和2年度 進行管理・評価について 資料2</p> <p>まず、2ページ目から始まる資料2について簡単にご説明をいたします。こちらは進行管理評価シートというものです。このシートは、歴ま</p>

	<p>ち計画認定都市が年に1度国交省へ提出するためのシートになります。</p> <p>佐渡市は昨年度に認定をされましたので、次年度の5月末に国交省へ提出する必要があります。そして国交省へ提出したのち、6月末頃に佐渡市のホームページへ掲載することも決められております。</p> <p>2月末の時点でこちらの資料の評価シートに関しましては国交省の担当者より書きぶりを確認していただいております。</p> <p>今後の修正等につきましては事務局に一任いただきたいと思います。</p> <p>それでは進行管理評価シートのページに沿って、令和2年度の実績報告を各課担当者よりお願いいたします。</p> <p>—説明—※説明内容省略</p>
濱崎センター長	評価軸③-1「相川郷土博物館整備事業」について説明 (資料2 p.6)
宇佐美係長	評価軸③-2「旧佐渡鉱山採鉱施設保存活用整備事業」、評価軸③-3「史跡佐渡金銀山遺跡保存活用整備事業」、評価軸③-4「重要文化的景観整備事業」について説明 (資料2 p.7~9)
河島補佐	評価軸③-5「空き家対策事業」について説明 (資料2 p.10)
菊地補佐・宇佐美係長	評価軸③-6「地域防災力向上支援事業」について説明 (資料2 p.11)
小田係長	評価軸③-7~9「道路美装化事業」「階段整備事業」「街路灯整備事業」について説明 (資料2 p.12~14)
渡邊補佐	評価軸③-10~11、13~14「地域行事支援事業」「北沢浮遊選鉱場ライトアップ事業」「観光パンフレット多言語化事業」「観光ガイド育成・活用事業」について説明 (資料2 p.15~16、18~19)
小林補佐	評価軸③-12「まちあるきによる文化財等散策事業」について説明 (資料2 p.17)
小田係長	評価軸③-15~16「渋滞緩和対策事業」「来訪者用トイレ改修事業」について説明 (資料2 p.20~21)

市橋学芸員	評価軸④-1~3、評価軸⑥-1について説明 (資料2 p. 22~26)
岡崎会長	<p>ありがとうございました。只今の事務局の説明について、何かご意見・ご質問はございますか。</p> <p>ちなみに冒頭ページの説明は時間の関係でありませんでした。重要な部分を選んで説明いただいたのだと思います。</p>
木村委員	<p>今年度の事業内容は終わっているのですが、その意味での感想の視点からひとつと、それから（今後の書類の修正に関しては）一任してほしいとの事務局のお話に対してですが、あえて一言申し上げたいと思います。</p>
岡崎会長	<p>言い忘れていましたが、今回この協議会でいただいた意見については、進捗評価シートに記載して国交省に提出することとなっていますので、よろしくをお願いします。</p>
木村委員	<p>はい。最初に確認させていただきたいのですが、3ページにこの協議会の推進体制が描かれています。そこから解釈すれば、専門家の会議は庁内推進体制に対して外部からの専門的な組織だが、今日のこの協議会は庁内推進体制に対して身内的な存在となっています。</p> <p>協議会の委員のメンバーの多くは専門家ではないが、地域を身近に感じる関係者で構成されています。その意味で、専門家とはまた違う役割を持ち、全体を俯瞰して見るという立場から意見を申し上げるということが良いでしょうか。</p> <p>それで良いということですね。（事務局からその旨の意思表示）では、その立場で述べさせていただきます。</p> <p>今回いただいた進捗評価シートについてです。そのシートの「定性的・定量的評価」について、いま説明を受け、内容を読みました。そうすると、「実施しました」ということだけが記載されていて、やってみてどうなのか、成果があがったのか、といった内容が書かれていません。用意された記入欄にしたがい、自己評価を記述しなければならないと思うのですが、そこが物足りません。これは国交省へ提出する事業の実績を示す正式な書類なので、そこはきちんと書いてほしいと思います。</p> <p>また、「実施検討にあたっての課題と検討方針」がほとんど空欄です。ここがいちばん重要で、やってみてどうなったかという、最も知りたいところです。この協議会の委員の立場は、どういったことを担当者がどう苦労したかを知り、それについて意見を述べたりしなければならないと思うのですが、このようなことをもっと身近に感じさせていただきたい。</p>

	<p>この記載内容では、せつかく意見を申し上げようとしても、なかなか指摘しにくい印象です。このあたりをこれから最終的な書類を作っていく際、血の通う内容にしていきたい。</p>
岡崎会長	<p>課題のところは書かなくても良いのでしょうか。</p>
市橋学芸員	<p>書いたほうが良いという意見をいただきましたので、提出までに書き加えたいと思います。</p>
木村委員	<p>ほんとうに課題が無ければ書かなくても良いと思いますが、せつかく用意された内容なので、積極的に書いていただいたほうがどれだけ取り組んだかが伝わるとと思います。</p>
岡崎会長	<p>ありがとうございます。前向きにご検討いただければと思います。他にいかがでしょうか。</p>
池田委員	<p>今の意見に少し関わるのですが、予算額について何も知らされていません。予算がどれくらい使われているかわかれば、各事業の効果が十分であったかどうか、より考えられるのですが、ここには出せないものでしょうか。</p>
岡崎会長	<p>事務局から回答をお願いします。</p>
市橋学芸員	<p>予算を記載し、効果があったかどうかを記載するというのでしょうか。</p>
池田委員	<p>ここに記載しなくても良いのですが、予算が分かれば、費用対効果の観点からも考えられ、評価ができるということです。</p>
岡崎会長	<p>予算につきましては、このシートには書くことを求められていないので、事務局としては書いていないということだと思いますが、市民感覚からすれば、どれくらいの予算が使われているのか知りたいと思うのは当然のことだと思います。</p> <p>別途予算に関することを書いた紙をお配りするなど、お知らせするなどできるでしょうか。</p>
市橋学芸員	<p>使った予算を出せるものかどうか確認し、今後対応したいと思います。</p>

岡崎会長	他にいかがでしょうか。
富田委員	9 ページの「4 件の事業」とありますが、大安寺、塩竈神社、あと一般住宅と言っていましたが、これは空き家でしょうか。具体的な場所を知りたいのですが。
宇佐美係長	修理を行っている住宅は個人住宅のため、個人名を出すことができない状況です。1 件につきましては、現在もお住まいの住宅です。1 件については、現在は住んではいないのですが、活用方法を検討したいということで、事前に直したいという要望があった事業です。
富田委員	24 ページ。文化財に関する普及啓発活動について、次年度は「正法寺」で実施とあるのですが、正法寺はどこにあるのでしょうか。
市橋学芸員	正法寺は金井地区の泉にあるお寺です。
富田委員	ありがとうございました。
岡崎会長	他にいかがでしょうか。
木村委員	<p>もう一つ良いでしょうか。</p> <p>26 ページです。歴史まちづくりフォーラム in 相川のアンケートの結果についてです。たしかにフォーラムによってある程度理解が進んだということがわかりますが、これは入り口にすぎません。なぜなら、よその地域の成功した事例を紹介したにすぎないからです。自分の地域だったらどうなのか、ということに及んでいません。事例を理解したうえで、今後、どういうふうにして自分の身近な問題として考えてもらえるか、ここが非常に重要だと思います。</p> <p>アンケート結果にも、もっと地元をどうしていくのという話を聞きたいという意見がありました。今回の結果に満足することなく、このアンケートの意見にあるようなことをこれからやっていてもらいたいと思います。</p> <p>「今後の課題」のところには、協働したまちづくりを行うと書かれています。今回のように成果があがったものを活かして取り組んでほしいと思います。</p>
市橋学芸員	ご意見ありがとうございました。そのように調整していきたいと思えます。

岡崎会長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
岩崎室長	意見が無いようなので、次に進んでいただければと思います。
岡崎会長	<p>それでは、次に進みます。事務局は、進行管理・評価シートの修正、追記を行い、期日までに国交省への提出をお願いいたします。</p> <p>それでは、ここでリモート機材の調整を行うため、10分間の休憩を設けます。</p> <p style="text-align: center;">————— 休憩 —————</p>
岡崎会長	では再開したいと思います。次は議事（3）令和3年度計画になります。事務局から説明をお願いいたします。
市橋学芸員	<p>—説明—※説明内容省略</p> <p>（3）令和3年度事業計画について資料3～資料5</p>
濱崎センター長	事業（1）－①佐渡奉行所整備事業、（1）－②相川郷土博物館整備事業について説明（資料5 p.29～30）
宇佐美係長	事業（1）－④旧佐渡鉱山採鉱施設保存活用整備事業、（1）－⑤史跡佐渡金銀山遺跡保存活用整備事業、（2）－①重要文化的景観整備事業について説明（資料5 p.32～34）
佐々木係長	事業（2）－②空き家対策事業について説明（資料5 p.35）
菊池補佐・宇佐美係長	事業（2）－③地域防災力向上支援事業について説明（資料5 p.36）
小田係長	事業（2）－④～⑥道路美装化事業、階段整備事業、街路灯整備事業について説明（資料5 p.37～39）
渡邊補佐	事業（3）－①地域行事支援事業について説明（資料5 p.40）
宇佐美係長	事業（3）－②拠点施設整備事業について説明（資料5 p.41）
濱崎センター長	事業（3）－③文化施設への映像体験設備導入事業について説明（資料5 p.42）

渡邊補佐	事業（４）－①北沢浮遊選鉱場ライトアップ事業について説明（資料 5 p. 43）
小林補佐	事業（４）－②まちあるきによる文化財等散策事業について説明（資料 5 p. 44）
宇佐美係長・ 小田係長 渡邊補佐	事業（４）－③文化財看板等整備事業について説明（資料 5 p. 45） 事業（４）－④～⑦観光パンフレット多言語化事業、観光ガイド育成・活用事業、レンタサイクル整備事業、弥十郎駐車場整備事業について説明（資料 5 p. 46～49）
小田係長	事業（４）－⑧～⑨渋滞緩和対策事業、来訪者用トイレ改修事業について説明（資料 5 p. 50～51）
河島補佐	事業（４）－⑩歴史文化啓発グッズ開発事業について説明（資料 5 p. 52）
岡崎会長	ありがとうございました。今のご説明に関しまして、ご意見等ありましたらお願いいたします。
萩野委員	深見家の利用について、まちの人とお話しをしてみてください、もう少し具体的な考えはありますか。
宇佐美係長	まちづくり車座の会などで旧深見家の利用法について意見をうかがったり、深見家の歴史なども地域の方は知らないと思うので、そういった方々に現地を見て頂いて、どのような活用が可能か。検討することを考えております。令和２年度の第２分団で行った地域防災の集まりの際、その場で出席者の方には深見家の建物について説明し、活用について一緒に考えていきたいと思いますという事前の滑り出しを行なっています。令和３年度は意見交換の場を増やしたいと思います。自主防災組織の取り組みを年５回計画しており、併せて意見交換を行っていきたくて考えております。
岡崎会長	よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。
木村委員	４つほどお尋ねします。30 ページの相川郷土博物館について、前年度

	<p>は耐震補強などでしたが、今年度は展示内容の変更も入っています。これは現在とは違う展示になるということなののでしょうか。また、その方針はあるのでしょうか。</p> <p>33 ページの史跡金銀山遺跡保存活用整備事業について。3次元点群モデルを作成するために測量を行うようですが、その測量はどのような目的で、またどんなことに役立つのでしょうか。ご説明をお願いします。</p> <p>42 ページの映像体験設備導入事業について。なぜ施設の機能をさらに強化する必要があるのかを、おしえてください。</p> <p>43 ページの夜間ライトアップについて。いろいろなデザインや照らし方があると思いますが、どのように考えておられるのでしょうか。世界には様々な産業遺産があり、それぞれに見せるための工夫がほどこされていますが、ライトアップの仕方によっては効果が異なってきます。そのあたり何かお考えがありましたらおしえてください。</p> <p>以上です。</p>
濱崎センター長	<p>相川郷土博物館の展示計画については、今後の実施設計の中で示していきたいと考えております。まず耐震工事を優先し、どのような展示ができるか、検討していきたいと考えています。</p>
木村委員	<p>これから検討していくということは、今は全く検討していないということなののでしょうか。</p>
濱崎センター長	<p>金山等に特化した内容で展示していきたいという方向は決まっていますが、具体的に何を展示するかまでは決まっていません。</p>
木村委員	<p>(「方向性」という重要案件が策定されたなら) そういったことはぜひともきちんと書いていただき、説明していただきたいと思います。</p>
濱崎センター長	<p>はい。承知しました。</p> <p>続きまして、文化施設への映像体験設備導入事業についてです。特に佐渡奉行所跡につきましては、現在ガイドで説明を行っている状況です。展示は少なく、部屋ごとに説明を行っています。こういった状況の中で映像を加え、強化したいと考えています。また、伝承館についても体験施設があるのみで、説明等が全くありません。トイレ休憩等で多くの方が来館するので、展示概要などを映像で説明したいと考えております。</p>

<p>宇佐美係長</p>	<p>それでは、33ページの3次元点群モデル作成の目的について説明させていただきます。北沢浮遊選鉱場は鉄筋コンクリートの基礎がむき出しになっています。コンクリートの破損が進行している状態であり、今後、どのように保存していくか。どのような手法の保存が考えられるのか。これを検討するための詳細な測量データがありません。測量をもとにし、検討を進めるための資料を作成する目的で、3次元点群モデルの作成を予定しています。</p> <p>また、一度3次元点群モデルを作成しておくとして、期間は検討中ですが、数年後にもう一度同じ状態、同じ手法で3次元点群モデルを作成することで、以前作成した資料と重ね合わせ、見えない部分でどのような毀損が発生しているか。比較することが可能になるため、3次元点群モデルの作成を検討しています。</p>
<p>渡邊補佐</p>	<p>ライトアップの関係ですが、1年中同じ点灯パターンでライトアップしているわけではありません。ライトは佐渡の四季をイメージしており、春は緑色を多くしたり、夏は海をイメージし青を多くしたり、秋は稲穂を意識し黄色を多くしたりなど、佐渡をイメージする点灯パターンを考え、訪れる人が飽きない仕掛けを考えています。</p> <p>年越しは赤と白の点灯でおめでたい雰囲気を出したりしています。</p> <p>16ページに写真がありますが、壁面に今年度はメッセージを映し出すことも行ってみました。地元の小学校が相川について学習した内容、応援メッセージの掲載を行い、多くの方に見て頂き、関心を持ってもらう工夫を行っています。芸術性の点灯か楽しさの追求か、さじ加減を調整しつつより親しんでもらう場所にしていきたいと考えています。</p>
<p>木村委員</p>	<p>ありがとうございました。今の説明はとてもよくわかりました。</p> <p>いろいろ苦心されながら、工夫しながらされているので、そういった苦労されていることはぜひ記載してほしいです。協議会、ひいては市民の理解が進むと思います。</p>
<p>岡崎会長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>私からもひとつお願いがあります。文化的景観の専門家会議があるのですが、例えば北沢の整備や修理は文化的景観にも関わっています。お互いに何を行っているか。簡単な報告で結構ですので、情報共有できるように配慮していただければと思います。</p>
<p>岡崎会長</p>	<p>他にいかがでしょうか。せっかくなので、オブザーバーの方々、ご感</p>

	<p>想などあればお願いします。</p>
鬼丸課長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。北陸地方整備局としましても、支援をしていきたいと思えます。今後も様々な事業を行うと思えますが、国交省の財源も確認していただき、事業を進めていただければと思えます。よろしくお願ひいたします。</p>
澤田委員	<p>令和 2 年度事業の評価について。今年度、重要文化的景観の現地を巡りました。定性・定量的な評価をどのようにしてくか。事務局で評価をどのように行っていくか。も大事だと思ひました。</p> <p>たとえば 4 件の計画があり、4 件行ったから予定通りということではなく、4 件行うことでどのような効果を狙っていて、それに対しどのような効果が出たか。という書き方にしてはどうでしょうか。</p> <p>他の方々にも仕事内容がよく理解していただけるのではないかとと思ひました。</p> <p>令和 3 年度の事業についても今のうちから考えていくことも大事かと思ひました。</p>
岡崎会長	<p>事務局の負担もあるでしょうし、バランスの兼ね合いもあると思ひます。できる範囲でやっていただきたいと思ひます。</p>
岩崎室長	<p>事務局からよろしいでしょうか。</p> <p>事業報告について、意見をいただきました。事業を行ったことでの効果をしっかり明記する必要があると感じました。今年度は事業が始まって初めての会議でありますので、勉強不足の部分が多くありました。その点は反省しながら、しっかりした評価表を作成していきたいと思ひますので、今後ご指導をよろしくお願ひします。</p>
岡崎会長	<p>議事（4）のその他に移ります。事務局から何かありますでしょうか。</p>
市橋学芸員	<p>事務局からは特にありません。</p>
岡崎会長	<p>はい。わかりました。</p>
木村委員	<p>よろしいでしょうか。別紙で配布されたフォーラム報告と第 1 回協議会の書面審議の記録について、感想を申し上げます。</p> <p>これは 7 月に行われたものですが、その後 8 ヶ月も過ぎて記録が示されたことは、会議の成果としてどうかと思ひます。</p>

	<p>書面会議は意見を書いて提出しますが、それに対する回答が一回あって終わりではなく、すぐに回答され、さらに何回かのやりとりをし、それを終わらせるまで続けてほしいと思いました。</p> <p>内容についても、協議会のみなさんは非常に積極的に質問されていますが、回答は「専門家会議で進めているから…」など、“心配しなくて良い”、“心配してもらわなくて構わない”などという印象を感じさせる回答になっています。</p> <p>この会議は市議会の答弁などではなく、内輪の議論です。もっとざっくりばらんに答えてほしいと思っています。私たちがせっかくいろいろ考えて意見を書いたのに、これではがっくりきます。決して粗探しをしているのではなく、どうしたらいいかを真剣に考え、意見を述べています。こういうことに対して、しっかり向き合って回答してほしいと思います。</p> <p>最初に申し上げた通り、この協議会は専門家会議とは別の次元の、もっと身内の会議です。トンチンカンな意見もあるかもしれませんが、それに対しても丁寧に説明してくださることは、地域に対して理解を深めることに繋がります。わずらわしいかもしれませんが、それもひとつの役割だと思い、質問には懇切に答えてほしいと思いました。</p>
岡崎会長	<p>わたしも気づきませんでした。書面審議の内容についても説明をいただければ、わかりやすくなったかなと思いました。今後ご検討いただければと思います。</p>
下谷課長	<p>木村先生からのご指摘に回答させていただきます。先生のおっしゃるとおり、これはテストの答案のような満点を指すものではなく、あくまで玄関口みたいなものです。早めのお返しができず申し訳なく思っています。このやりとりは、まちづくりの第一歩のようなものです。その考え方にに基づき、キャッチボールというか、本音の部分でお返しすべきであったと反省しています。今後は十分気をつけたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
岡崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>完全なオンラインだとわりとうまくいくのですが、リアルとオンラインとのセットというのは、環境整備も必要で難しいところがありますが、皆さまのご協力が無事に会議を終えることができました。ありがとうございました。</p> <p>世界遺産ということになれば、国際交流もあります。インターネット環境の整備についても、さらに進めて頂ければと思います。</p> <p>今日はありがとうございました。それでは事務局にお返しいたします。</p>

<p>下谷課長</p>	<p>岡崎会長、大変ありがとうございました。</p> <p>それでは閉会にあたりまして、小林副会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>小林副会長</p>	<p>ごめんください。コロナ禍の昨年度はずっと集まりが無く、今年度もリモートで対応するということでした。</p> <p>委員の皆様、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。令和2年度の事業、それに伴う評価シート、そして令和3年度の事業計画について慎重に審議して頂き、大変ありがたいと思います。</p> <p>話し合いの中で重要と思われることが指摘されておりました。何かというと、評価シートの定性的・定量的がこの書き方で良いのか。ということですね。この考え方は必要だなと思いました。</p> <p>課題はあるわけで、課題があるのならば書いたら良いのではないかと思います。また、1住民なので言いますが、今後10年間に渡りやっていくわけですが、事業にどれくらいのお金が使われるのか、終わってからわかってはどうにもならないと思います。住民としては知っておきたいと思いました。</p> <p>閉会のあいさつで個人的な意見も入っていて申し訳ないのですが、佐渡市の各課、お仕事が大変と思いますが、10年間かけて行いますので、お互いに地域の人にもわかってもらい、理解してもらい、そして事業を進めていくのが良いことだと思います。今後も頑張ってくださいと思います。</p> <p>各委員の皆様、本日は大変ありがとうございました。年に1回の会議ですので、また来年もよろしくをお願いいたします。</p> <p>本日は大変ご苦労様でした。</p>
<p>下谷課長</p>	<p>ありがとうございました。岡崎会長、長時間にわたる議事進行、ありがとうございました。また、委員の皆様におかれましては、ご指導ご意見を賜り、誠にありがとうございました。本日頂戴いたしました皆様からのご意見を肝に銘じ、より良い実践ができるよう頑張っていまいりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>それでは、これをもちまして、令和2年度「第2回佐渡市歴史的風致維持向上協議会」を終わらせていただきます。大変お疲れ様でした。</p>